



特集

令和元年度日事連建築賞

■日事連建築賞選考委員会

- 委員長** 富永 讓
法政大学名誉教授、(有) 富永讓・フォルムシステム設計研究所代表
- 委員** 網野禎昭
法政大学デザイン工学部教授
- 委員** 石堂 威
都市建築編集研究所代表
- 委員** 小林 靖
国土交通省大臣官房審議官
- 委員** 作山 康
芝浦工業大学システム理工学部教授
- 委員** 陶器二三雄
(株) 陶器二三雄建築研究所代表
- 委員** 横須賀満夫
日事連前理事、(株) 横須賀満夫建築設計事務所代表取締役

本連合会では、優れた建築作品を設計した建築士事務所を表彰することにより、建築士事務所の資質の向上に資することを目的に、毎年「日事連建築賞」を実施しています。

本年度は、一般建築部門 69 点、小規模建築部門 76 点、計 145 点の応募があり、単位会での第 1 次審査を経て、27 単位会から日事連にリノベーション等を含め一般建築部門 27 点、小規模建築部門 25 点、合計 52 点の建築作品の応募がありました。

6 月 12 日に第 1 回選考委員会を開催し、討議および投票の結果、まず一般建築部門 9 作品、小規模建築部門 9 作品を受賞候補として選定しました。さらに討議・検討の結果、国土交通大臣賞、日事連会長賞および優秀賞候補として一般建築部門 6 作品、小規模建築部門 5 作品を現地審査することとしました。

6 月 18 日から 8 月 2 日にかけて現地調査を行い、その結果を踏まえて最終選考委員会および常任理事会において各賞を決定しましたので、以下にご紹介します。

国土交通大臣賞 一般建築部門 (1 点)

北見市立留辺蘂小学校／道日建・エヌ・ケー特定委託業務共同企業体 (北海道会)

日事連会長賞 小規模建築部門 (1 点)

父母の家／(株) 松山建築設計室一級建築士事務所 (福岡会)

優秀賞 一般建築部門 (3 点)

日本海事検定協会本部ビル／(株) 竹中工務店東京一級建築士事務所 (東京会)
磐田卓球場 ラリーナ／渡辺隆建築設計事務所 (静岡会)
オアシスバンク 琉球銀行牧港支店／(株) 渡久山設計 (沖縄会)

優秀賞 小規模建築部門 (2 点)

岩国のアトリエ／向山徹建築設計事務所 (広島会)
桜木幼稚園／稲荷明彦建築研究室・(有) 宮坂設計・(同) 多和良屋 (石川会)

奨励賞 一般建築部門 (5 点)

観音寺市民会館 ハイスタッフホール／(株) 日建設一級建築士事務所 (大阪会)
南三陸町役場庁舎／(株) 久米設計・ピークスタジオ一級建築士事務所 (東京会)
笠間市 地域交流センターいわま「あたご」／(株) 河野正博建築設計事務所 (茨城会)
前橋市立桃井小学校／(株) 石井設計 (群馬会)
リマニット・モーターイ 藤田展示場／(株) 竹中工務店広島一級建築士事務所 (広島会)

奨励賞 小規模建築部門 (6 点)

ときわ台のアパートメント／(株) MAAAA 一級建築士事務所 (東京会)
宝性院観音堂／PERSIMMON HILLS architects (神奈川会)
伊賀上野のオフィス／(株) 森本建築事務所 (三重会)
えんのき保育園／(株) SN Design Architects 一級建築士事務所 (静岡会)
医療法人 奥原医院／一級建築士事務所 (株) アーキディアック (長野会)
北方のクリニック／ハラヒロト建築設計事務所・(株) メゾン一級建築士事務所 (東京会)



高さを抑えた軒により周囲への圧迫感を軽減するとともに、外観に木の温もりを表現した

❖ 北見市立留辺薬小学校

▶ 道日建・エヌ・ケー特定委託業務共同企業体（北海道会）

「木のまち」留辺薬に建つ小学校と児童館の複合建築。地場産木材を主役とした森のような学校を計画した。

平面は、中央ひろばに特別教室、普通教室、体育館、職員室、児童館を分散配置し、それらを木梁の大屋根で包む構成とした。室と室の間には有機的で多様なすきま空間が生まれ、屋根に点在するハイサイドライトから光と風が差し込む。森の中で好きな木の下に集まって遊ぶように、思い思いの場所で多様な学びが展開される、子

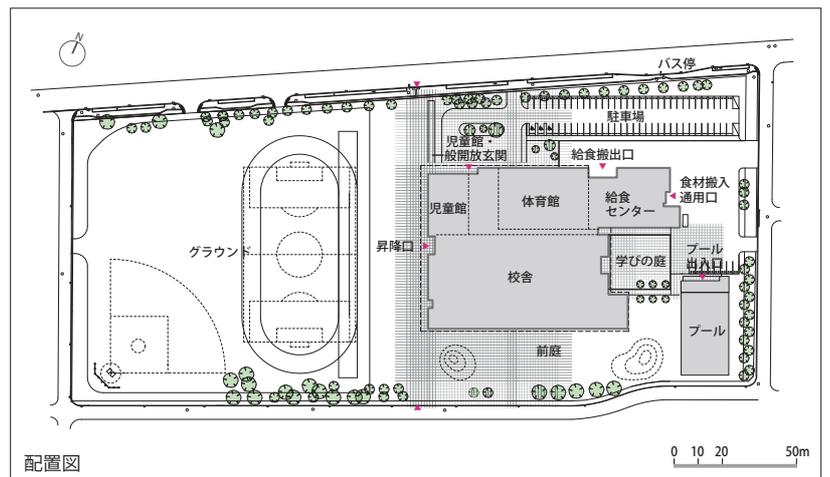
どもたちの主体性を育む空間とした。また、ここは雪と寒さに閉ざされた北国にとって大切な開放的で暖かな屋内の遊び場にもなる。

大規模木造を実現するため、RC 耐震壁と鉄骨梁を見えない部分で併用した。中央ひろばの屋根は、森の木々のようにランダムに配置した柱で支持するロングスパン鉄骨梁から木梁を吊り下げること、一体空間を実現。体育館は、鉄骨トラス梁から木梁を吊り下げること、木の無柱大空間とした。

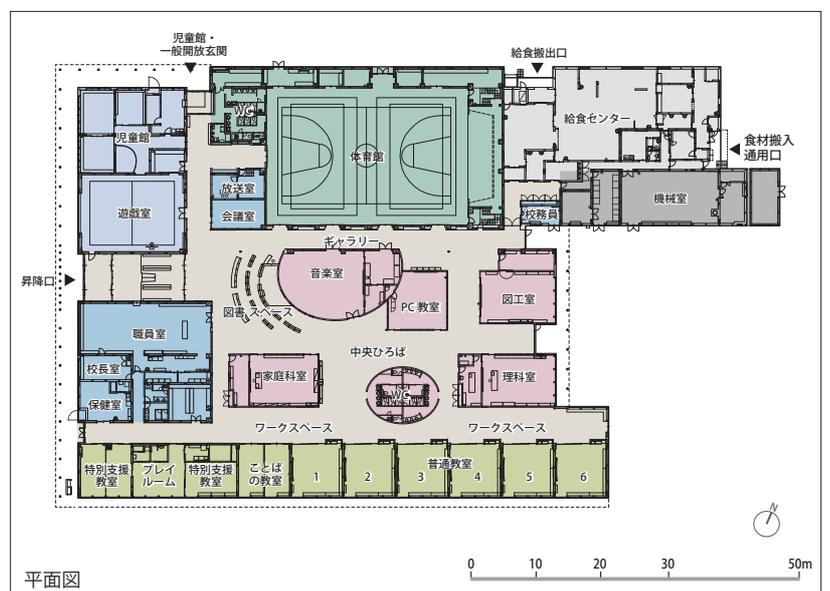
耐震・耐火性能確保のため、RC 耐震壁をバランスよく配置し、軸力を負担する木造との適材適所のハイブリッド構造とした。建物の一部を耐火構造として木造規模を分割することで、建物の大部分を燃えしろ設計の準耐火木造として計画し、木



北海道有数の林業のまち留辺蘂のシンボルとして計画



配置図



平面図

架構を現しにした温もりのある校舎を可能とした。

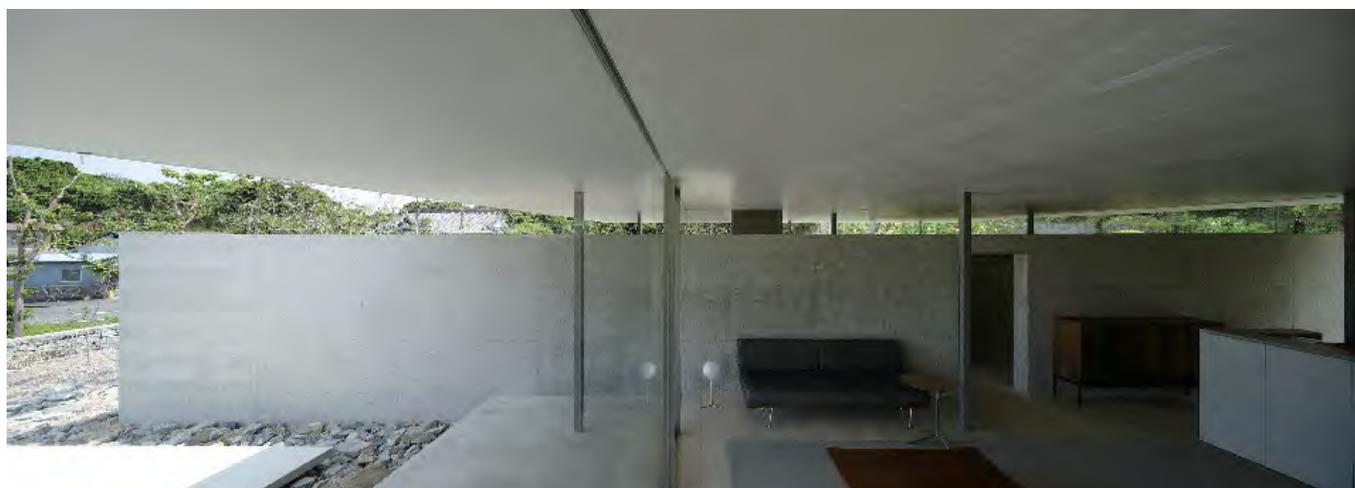
木質の仕上げは、日常活動で起きる転倒や衝突による受傷予防に配慮した。床はすべて段差のないフラットな構造とし、児童用男女トイレに車いすブースを配置、特別支援教室と普通教室を隣接させたプランなど、障がいのある児童も健常児と同様に学べる環境とした。

コンパクトに集約した平面計画と高断熱化により外皮熱負荷を抑え、自然エネルギーも活用して快適な学習環境をつくり出している。

建設地	北海道北見市	階数	地上1階
用途	小学校、児童館	敷地面積	15,481.90㎡
構造	木造、一部RC造 + S造+ SRC造	建築面積	5,804.30㎡
		延面積	5,346.90㎡



東側正面外観。過酷な気候風土から導かれた形態



木陰の下で涼むような室内環境を実現

❖ 父母の家

▶ (株) 松山建築設計室一級建築士事務所 (福岡会)

奄美大島の伝統工芸である大島紬を生業にしてきた老夫婦の、終の棲家として計画された住宅である。

敷地は奄美北部の太平洋側に位置し、長閑な集落の風景や山並みを望む高台にある。

南の島での設計は、台風や亜熱帯気候の厳しい

環境への備えから、その建ち方は自然の驚異から逃れるように閉鎖的な建築が主流化している。

この計画では、自然豊かな風景を日常の暮らしに取り込める開放的な空間を獲得すると同時に、過酷な気候風土にも耐えうる強さを持つ建築の実現に向け、2つの手法によって解決策を見い出そうと考えた。

ひとつは、大屋根を架け、深い軒を持つ形態にすることで、木陰の下で涼むような室内環境をつくり出すこと。もうひとつは、建築を閉じ



配置図兼平面図



アプローチ部分を北側より見る

ることによって台風への対策を講じるのではなく、むしろ外部に限りなく開いていけるような強い骨格を持つ建築を創造することであった。具体的には、鉄、コンクリート、木の特性を生かした構法を探りながら、最終的に鉄骨で大屋根を支持し、コンクリートで外壁を覆い、木組みで大屋根の軽量化や熱橋対策に対応する構造体に至った。

平面は、4mの均等スパンで配置した鉄骨造に対して、コンクリートの壁は構造に拘束され

ることなく自由な構成を可能としている。これにより、かつての奄美群島の分棟型住居のように、それぞれの機能は独立した様相を見せながら、個室以外のパブリックな空間では、突出する壁とともに内から外へと限りなく拡張していく場の状態をつくり出している。

自然の驚異に立ち向い、その自然を享受する開放的な暮らしの獲得に挑んだこの建築が、南の島の建築様式としてひとつの指標になることを願っている。

建設地	鹿児島県奄美市
用途	一戸建ての住宅
構造	S造
階数	地上1階
敷地面積	1,300.90㎡
建築面積	198.85㎡
延面積	184.13㎡



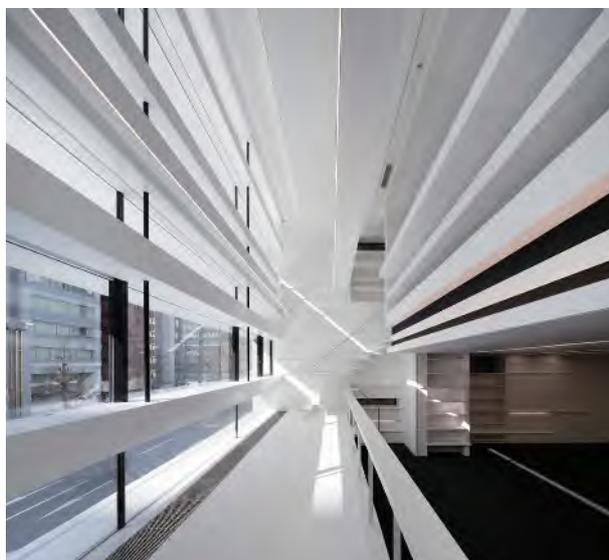
❖ 日本海事検定協会本部ビル

▶ (株) 竹中工務店東京一級建築士事務所 (東京会)

大通りと裏通りに挟まれた間口10m・奥行き23mの中規模オフィスビル。全国に多数存在する中規模オフィスビルは、都市景観を形成し経済活動のインフラを担う一方で、人々にあまり意識されにくい建築でもある。

この計画では、通りに対して開かれたシンプルな骨格の中に透明なコアを設けて南北をつなぎ、外部からの光と風を適度に緩和しながら取り込んだ。取り込んだ外部環境は、内部のポーラスな天井から染み出す光や風へと連なる。さらに、外装と一体化したデスクやカウンターを室内側に設けるなど、内外が連続する環境の中に隅々まで人のアクティビティを丁寧に編み込んだ。これにより、意識は内から外へと向かい、外装は揺らぎ、街とワークプレイスとの新たな関係性を創出した。

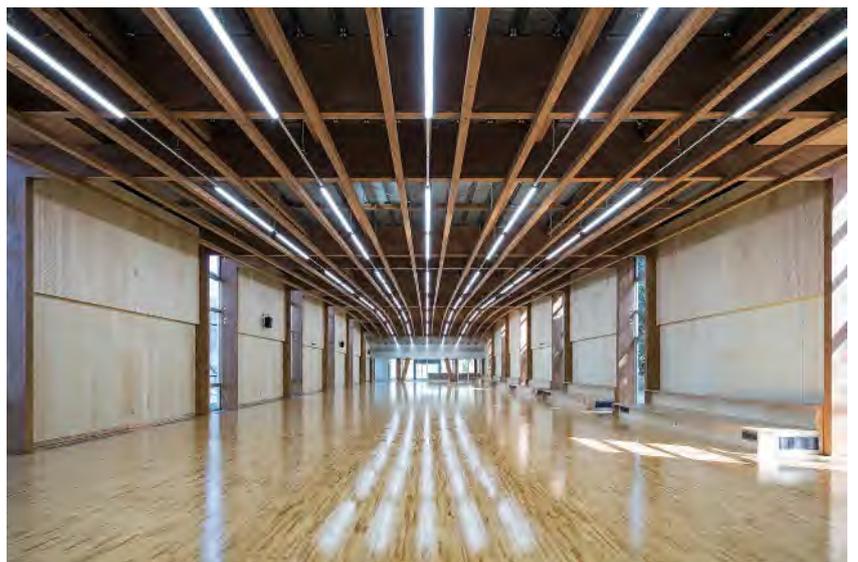
建設地	東京都中央区
用途	事務所
構造	RC造
階数	地上10階
敷地面積	296.85㎡
建築面積	231.31㎡
延面積	2,056.20㎡





❖ 磐田卓球場 ラリーナ ▶ 渡辺隆建築設計事務所（静岡会）

スポーツが盛んな磐田市の古墳公園内に建設された卓球専用のアリーナ。テニスコートが移転し少し寂れてしまった公園の再生、近くに鎮座する古墳の森の豊かさの再発見、市民の生涯スポーツの推進などが求められた。入札方式のため、標準的なコスト・工期・工法とプロジェクトの目的との調整も大きなポイントとなった。卓球に最適な室内環境、古墳の森と共存する屋根形式、市民のコミュニケーションを誘発する開口配置が、構造・環境・施工で互いに連関し統合されるよう、バランスに注意しシンプルに計画した。

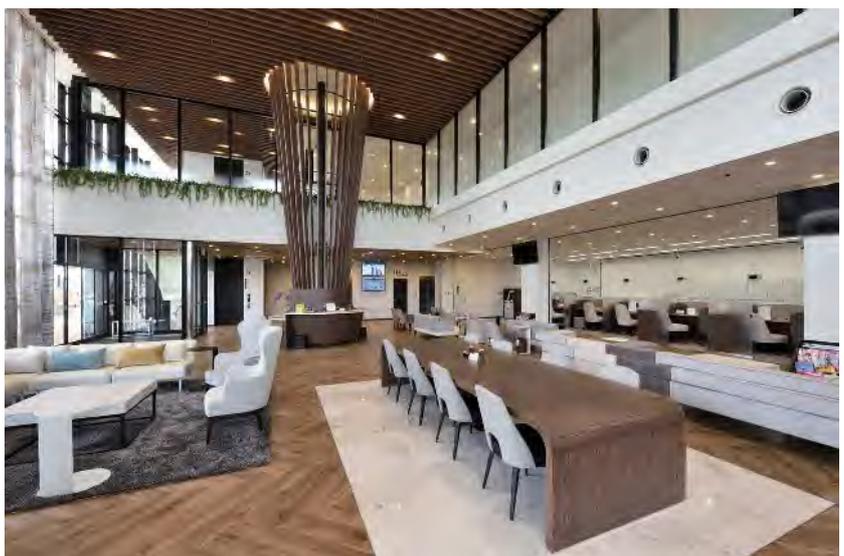


建設地	静岡県磐田市
用途	屋内練習場（卓球場）、 屋外アーチェリー場（射場・的場）
構造	木造（卓球場）（S造（射場・的場））
階数	地上1階
敷地面積	45,099.55㎡
建築面積	1,255.02㎡
延面積	1,064.92㎡



❖ オアシスバンク 琉球銀行牧港支店 ▶ (株) 渡久山設計 (沖縄会)

老朽化による建て替えにあたり「これまでにない銀行を」との依頼により、大きな木陰のある「地域の新たな拠り所」として計画した。建物全体が市民に開かれたコミュニティ空間となるよう、道路前面には植栽や散策路を配し、屋外のオアシス広場と、屋内のフリースペースとともに一体的に使えるように設計した。オアシス広場の大屋根「木漏れ日ルーフ」は、ガジュマルの下でおしゃべりする沖縄の原風景を現代的にデザインし、木陰の下で涼を取りつつ、人と人、人と自然との出会いや感動を誘発するものとなっている。



建設地	沖縄県浦添市
用途	銀行の支店
構造	S造
階数	地上3階
敷地面積	2,376.14㎡
建築面積	1,393.12㎡
延面積	1,997.01㎡

優秀賞 | 小規模建築部門



❖ 岩国のアトリエ ▶ 向山徹建築設計事務所 (広島会)

収蔵庫を含む画家のアトリエと展示ギャラリー、住居の計画。画家である依頼主は、木や土などの素材が生かされた空間で日々の生活と創作を行うことを願い、施工者は創業以来、木組みの伝統工法による建築を信念として造り続けていた。また、周辺は古い瓦屋根や板壁・土壁が残る集落であったことから、「金物を使わない木組みと仕口・継手、地元の土を使った土壁による構造体」による建築とした。木と土の構造体が、自然と響きあい、画家の生活と創作を豊かに支える背景となるべく熟慮を重ねた。



建設地	山口県岩国市
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上2階
敷地面積	495.41㎡
建築面積	143.04㎡
延面積	149.54㎡



❖ **桜木幼稚園** ▶ 稲荷明彦建築研究室・(有)宮坂設計・(同)多和良屋(石川会)

100余年の歴史を持つ教会付属幼稚園の老朽化および幼保連携型認定こども園への移行に伴う改築計画。これまでの時間の流れを引き継ぎながら、これからの園舎をいかに創っていくかを主題とした。

住宅街に位置するため、街並みのスケールに合わせて建物を分棟型にし、既存樹木を残した雁行型の平面計画とし、園庭に開き、高窓から桜の風景を取り込む旧園庭の断面構成を踏襲した。同時に解体された旧牧師館の階段や窓の部材も玄関ホールで活用。幼稚園の風景や歴史の継承を意図した。



建設地	石川県金沢市
用途	幼保連携型認定こども園
構造	木造、一部RC造
階数	地上2階
敷地面積	1,668.01㎡
建築面積	634.51㎡
延面積	721.83㎡

奨励賞 | 一般建築部門

◆ 観音寺市民会館 ハイスタッフホール ▶ (株) 日建設計一級建築士事務所 (大阪会)

老朽化による市民会館の建替え計画。敷地は、駅から近い旧市立小学校と幼稚園の跡地にあり、市の魅力を発信・創造・支援する新たな文化芸術の拠点として、市民に親しまれる市民会館を目指した。屋内運動場を改修した多目的ホールを、1,200席の大ホールと334席の小ホールで囲んだコンパクトな配置とし、施設の中心にふれあいロビーを設けた。管理・楽屋・搬入動線に配慮しながら、楽屋や各練習室をふれあいロビーに面して配置することで、市民の多目的利用を促し、施設利用率を高め、賑わいが滲み出るように計画した。



建設地	香川県観音寺市
用途	劇場
構造	SRC造+RC造、一部S造
階数	地上3階、塔屋1階
敷地面積	19,306.35㎡
建築面積	6,791.42㎡
延面積	8,814.00㎡

◆ 南三陸町役場庁舎 ▶ (株) 久米設計・ピークスタジオ一級建築士事務所 (東京会)

東日本大震災で津波被害に遭った役場庁舎の復興計画。かさ上げ工事により町並みや人々の生活、居場所、地域コミュニティが変化する中で、コミュニティ再生の拠点として町民が気軽に利用できる交流・協働空間「マチドマ(まちの土間)」を建築のコンセプトとした。町民・行政の協働や町外組織による支援などさまざまな活動の一つの大きな空間で内包し、未来のまちづくりへつなげることを意図した。行政運営の効率化や震災の教訓を活かしながら、今後の行政サービスの变化にも柔軟に対応できる公共施設とした。



建設地	宮城県本吉郡南三陸町
用途	庁舎
構造	RC造+S造、一部木造
階数	地上3階
敷地面積	8,730.11㎡
建築面積	2,656.75㎡
延面積	3,772.65㎡

◆ 笠間市 地域交流センターいわま「あたご」 ▶ (株) 河野正博建築設計事務所 (茨城会)



敷地は、稲田石の産地・笠間市の岩間地区にあり、日本三大火防神社の愛宕山を臨む場所にある。地域の縁を紡ぎ、次世代に続く多世代交流を生み出す「ENGAWA」(縁側)を建築のコンセプトとした。来訪同線を考慮し、敷地の北西側を人のための空間、南東側を車のた

めの空間と明確に分離した。建物は雁行配置とし、北西棟をおもてなし空間、南東棟を市民活動空間、2棟をつなぐ中央棟を多目的空間、愛宕山へと広がる外部空間をみんなの広場と位置付けた。屋根勾配は愛宕山の稜線に合わせ、景観統一のため、岩間駅外壁と同じ墨黒色にした。

建設地	茨城県笠間市
用途	集会場(地域交流センター)
構造	木造、一部S造
階数	地上1階
敷地面積	6,332.39㎡
建築面積	1,263.69㎡
延面積	1,004.99㎡

◆ 前橋市立桃井小学校 ▶ (株) 石井設計 (群馬会)

群馬県初の小学校として開校した長い歴史を持つ小学校の建替え計画。学校のほか、コミュニティセンター、消防分団、放課後児童クラブ、通級指導教室など複数の用途を統合し、多世代の人が利用するコミュニティスクールとして計画した。西側に隣接する保育園と学校が連携できるような配置とし、園児と児童が日常的に交流を図れるように配慮した。敷地の制約がある中でコンパクトな複合施設を目指す一方、地域利用者と児童の利用動線を明確に分離し、安全で安心なセキュリティを確保した。



建設地	群馬県前橋市
用途	小学校、事務所、自動車車庫
構造	RC造、一部S造
階数	地上3階、塔屋1階
敷地面積	15,737.86㎡
建築面積	4,992.53㎡
延面積	9,600.96㎡

❖ リマニット・モーター 藤田展示場 ▶ (株) 竹中工務店広島一級建築士事務所 (広島会)



中古バスの販売展示場。世界各地からお客様をお迎えするのにふさわしい空間、周辺景観を誘導するようなインパクトのある施設にしたいとの要望に応えるべく、竹林・展示エリア・商談エリアを川の字に配置する新しいショールームの形を提案した。風にゆらぐ竹林と78m

におよぶ軽やかな屋根の姿は、ロードサイドの美しいショーケースとして雑然とした既存の景観に清涼感を与える。構造体を生かしたシンプルな構成や、素材の選定・ディテールに至る細やかな配慮が、日本らしい心遣いを醸し出し、企業の信頼感へとつながることを試みた。

建設地	岡山県岡山市
用途	展示場
構造	RC造、一部S造
階数	地上1階
敷地面積	5,761.73㎡
建築面積	1,726.28㎡
延面積	1,610.75㎡

奨励賞 | 小規模建築部門

❖ ときわ台の Apartメント ▶ (株) MMAAA 一級建築士事務所 (東京会)

都市の中で人や建物が占有する場を「図」とすると、その上空の空所は「地」と捉えられる。建築で図を描きながら、地との関係をどうつくるかを考えた。建物は単身用賃貸住宅の Apartメントで、狭小な敷地に地下を含めた6層に7つの住戸を積層している。階高を2.5mに抑え、最小限の平面による階段室のコアを中央に配し、2.5m内外の細長いボリュームが外形を敷地に沿わせながらコアを囲んでいる。各住戸はL字型かメゾネット型とし、全方位に窓を計画、裏をつくらずに隣接する空所に住戸が対峙するようにした。

建設地	東京都板橋区
用途	共同住宅
構造	RC造
階数	地上5階、地下1階
敷地面積	60.18㎡
建築面積	50.05㎡
延面積	237.25㎡



❖ 宝性院観音堂 ▶ PERSIMMON HILLS architects (神奈川県)

高齢化や地縁血縁関係の希薄化、宗教観の喪失が進む中で、宗教性があるながらもまちに開かれたお堂を造り、住民が集まって交流する地域拠点としての現代的な宗教施設を目指した。敷地はお寺と街道の間にあり、大きな駐車場となって境内とまちを隔てていたため、散在する塀・石柱・石碑などの土着物との関係を紡ぐように観音堂のボリュームを配置することで参道を再興した。切妻屋根が視界から消える視点場や新旧のお堂を一拳に見渡せる視点場を造り、既存境内へと自然に連続していく参拝空間とした。

建設地	埼玉県北葛飾郡杉戸町
用途	寺院
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	866.40㎡
建築面積	267.90㎡
延面積	267.90㎡



❖ 伊賀上野のオフィス ▶ (株) 森本建築事務所 (三重県)

伊賀上野の景観地域に建つオフィス兼住まいの計画。「通りに面して土塀や門、外壁によって壁面ラインをそろえる」という伊賀上野の城下町の街並みや骨格を維持しつつ、現代的な生活にも対応した建物を目指した。オフィス用と住居用の駐車場を建物の一部として取り込み、全体を瓦屋根で覆うことで屋根・軒線の連続性を保った。道路に面して平屋のオフィス・駐車場を配置し、2つの中庭を挟んだ奥に住まいを計画することで、街の骨格を守りながら道路、オフィス、住まいの適度な関係性を生み出した。

建設地	三重県伊賀市
用途	事務所兼用住宅
構造	木造
階数	地上2階
敷地面積	639.81㎡
建築面積	331.72㎡
延面積	391.52㎡



❖ えんのき保育園 ▶ (株) SN Design Architects 一級建築士事務所 (静岡県)

0～2歳の子どもの対象とした定員10名の小規模保育園。人格形成に大きく影響する年齢であるため、安心感を与える園舎にすることを重視した。“間”となる建築を目指し、必要諸室で構成したプランを基にそれぞれを室ごとに分節し、大小の箱が集まる構成とした。箱と箱の間には1.5mの隙間を確保し、透明ガラスによって間をつなぎ、外部環境が隙間を通じて内部へ柔らかく入り込むつくりになっている。中央のインナーガーデンは半屋外的な空間とし、各室はこことつながることで間接的に外部環境を享受できる。

建設地	静岡県浜松市
用途	保育所
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	1,381.72㎡
建築面積	163.75㎡
延面積	163.75㎡



❖ 医療法人 奥原医院 ▶ 一級建築士事務所 (株) アーキディアック (長野県)

村の地域医療を担う診療所。敷地は木曾谷の旧中山道沿いにあり、東に藪原宿、西に木曾川が流れる。緑の山々と宿場町の佇まいに調和した外観を保ち、また訪れた患者を優しく迎える癒しの建築を意識した。地域性に配慮し、アプローチは谷に沿って吹く卓越風を防ぐため板塀で囲い、内外装には木曾五木の一つである地元産のサワラ材を用いた。建物の中心を貫く患者動線に待合、診察室等をクラスター状に配置し、その上部にトップライトを連続させ自然採光・換気を確認し、心地良く安心して過ごせる空間とした。

建設地	長野県木曾郡木祖村
用途	診療所 (患者の収容施設のないものに限る)
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	1,384.40㎡
建築面積	367.53㎡
延面積	340.25㎡



❖ 北方のクリニック ▶ ハラヒロト建築設計事務所・(株) メゾン一級建築士事務所 (東京会)

敷地は、柿で有名な岐阜県北方町の柿畑の一角にある。宅地化が進行する中で、大らかな畑の雰囲気を地域の記憶として留めたいと考えた。クリニックでは地域との関わりを深めながら、漢方と鍼灸も取り入れた医療が実践される。病気の時だけでなく、健康を維持するために元気な時にも立ち寄れる「まちの一部となる居場所」として計画した。小さなボリュームの小屋を角度を振って離散的に配置し、小屋の間に大屋根をかけてつなぐ構成とすることで、光と視線が抜け、開放的な路地空間のコリドーが生まれている。

建設地	岐阜県本巣郡北方町
用途	診療所 (患者の収容施設のないものに限る)
構造	木造
階数	地上1階
敷地面積	826.51㎡
建築面積	236.32㎡
延面積	230.87㎡



令和元年度日事連建築賞 2次審査について

令和元年度日事連建築賞の2次審査では、27 単位会から一般建築部門 27 点、小規模建築部門 25 点、合計 52 点の建築作品の応募がありました。2次審査作品の用途別分類、種別は下記の通りです。

【用途別分類】

◇一般建築部門 (件)		◇小規模建築部門 (件)	
事務所	6	事務所	4
共同住宅	3	住宅	8
学校	3	美術館	2
保育所	2	保育所	2
道の駅	2	診療所	3
劇場	2	その他	7
展示場	2		
その他	9		

※複合施設など用途が複数ある場合は、各用途ごとにカウントしています。そのため、上記項目の合計数は応募作品の総数とは異なります。

【種別】 (件)

新築	40
新築以外	12

受賞者には、10月4日に開催される第43回建築士事務所全国大会(福島大会)において表彰を行います。また、大会式典会場には、受賞作品のパネルを展示します。

来年も皆さまからのご応募を審査委員・事務局一同、心よりお待ちしております。



大臣賞と会長賞の受賞者に授与される記念品の三角スケール



パネル展示風景